

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【公表番号】特表2006-522102(P2006-522102A)

【公表日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2006-038

【出願番号】特願2006-507106(P2006-507106)

【国際特許分類】

A 6 1 K	49/00	(2006.01)
A 6 1 K	41/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/409	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 0 7 K	7/06	(2006.01)
C 0 7 K	14/655	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	49/00	Z N A A
A 6 1 K	41/00	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/409	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/04	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
C 0 7 K	7/06	
C 0 7 K	14/655	

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月7日(2007.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) ターゲティング分子；
 b) イメージング分子；および、
 c) 光線力学的療法(PDT)分子(ここで、該PDT分子は2光子吸収PDT剤である)

を含有する、三機能性剤。

【請求項2】

更に少なくとも1つのリンカー分子を含有する、請求項1記載の三機能性剤。

【請求項3】

該ターゲティング分子はタンパク質である、請求項1または2のいずれかに記載の三機能性剤。

【請求項4】

該タンパク質はペプチドである、請求項1～3のいずれか1つに記載の三機能性剤。

【請求項 5】

該ターゲティング分子は細胞表面受容体のリガンドを含む、請求項1～4のいずれか1つに記載の三機能性剤。

【請求項 6】

該リガンドは細胞表面受容体のリガンドのフラグメントを含む、請求項5記載の三機能性剤。

【請求項 7】

該イメージング分子は発色団である、請求項1～6のいずれか1つに記載の三機能性剤。

【請求項 8】

該イメージング分子はフルオロフォアである、請求項1～6のいずれか1つに記載の三機能性剤。

【請求項 9】

該PDT分子はポルフィリンである、請求項1～6のいずれか1つに記載の三機能性剤。

【請求項 10】

該PDT分子は置換ポルフィリンである、請求項9記載の三機能性剤。

【請求項 11】

請求項1～10のいずれか1つに記載の三機能性剤を患者に投与し、そして該PDT剤を活性化するのに十分な光を投与することを含む、請求項1～10のいずれか1つに記載の三機能性剤。

【請求項 12】

請求項1～10のいずれか1つに記載の三機能性剤および医薬的に許容し得る担体を含有する、医薬組成物。

【請求項 13】

請求項1～10のいずれか1つに記載の三機能性剤および医薬的に許容し得る担体を含有する、癌をイメージングしそして処置するための医薬組成物。